手紙No.30

*内容の説明*

*手紙No.30の内容*

*KHが語る -*

*ファーンに関するヒュームの手紙を批判する。ヒュームは最初から最後まで勘違いしていた-ヒュームのKHへの手紙を引用。ファーンはMを「騙そう」と努力するとヒュームが手紙で言う-チェラの試練 - 見習い期間（試験・試用期間）の意味。チェラの選択の自由 - 表現の自由 - イエズス会の訓練方法とは全く逆の訓練方法 -イエズス会は真実と人間性に対して偽りである。チェラの弱点を探すこと - マスターが真実をどのように見ているか - 与えられた例 -Mの自分自身を表現する方法。KHはマハトマMについていくつかの観察をする-ヒュームの欠点についても。ヒュームへの節度ある叱責。チェラに期待されること*

*- 人間の真の価値。特定の友人の不甲斐なさ - 裏の手口 - ヒュームを守る者の誠意 - チェラがどのように試されるか - ダモダール - HPB -オルコット - ファーンに適用されたテスト - 誰も騙されない - HPBのファーンへの評価 -彼女のヒュームへの助言。ヒュームへの感謝の言葉-彼の不満-彼の主張と要求-2級の心-友人の真理-恨むべきではない-Hが行ったすべてのことに対するマハトマの感謝。*

手紙No.30

{1882年8月28日頃、AOH宛に書いたものをシムラのAPSが受け取った}

[KHが引用したA・O・ヒュームの手紙の部分（pp.229-30）はAOH自身が書いたものの複製であり、その中のイタリック体の箇所にはKHが下線を引いている

- 編集者]

プライベート

親愛なるブラザーよ。

１

おそらく１週間前であれば、私はこの絶好の機会を逃さず、ファーン氏に関するあなたの手紙は、ファーン氏が追い求めている目的についてあなたが完全に無知であるのと同様に、M□の精神、そして何よりも同氏に対するM□の態度を完全に誤解していると述べ、それ以上は言わなかったでしょう。しかし、今は状況が変わっています。あなたは我々が、これまで言われていたような心を読む力を実際には持っていないことを「知った」わけですが、それでも私の最後の手紙が受け取られた精神や、生み出された不満については十分に知っています。つまり、真実は歓迎されないことが多いかもしれませんが、私があなたと率直に話す時が来たのだということは、分からないまでもうすうす感じています。嘘は弱者の逃げ場であり、我々は、あなたに我々の欠点を発見されたとしても、十分に強いので、真実を恐れることはほとんどありません。また、無知な事柄に関して賢く見せたいという利益のためだけに、嘘をつくこともありません。ですからもしかしたら、我々が考えを知りたいと思う人と完全に心を通わせ、集中しない限り、本当の意味での心を読む力はないことをあなたは知っていると述べた方が賢明だったかもしれません。それは否定できない事実であるため、現在あなたの手紙にあるような不当な仮定ではありません。とはいえ、私たちの前には二つの道しかなく、わずかな妥協の余地もありません。今後、もしあなたが我々と一緒に仕事をすることを望むのであれば、私たちは完全な理解のもとに仕事をしなければなりません。我々のほとんどは、自分たちを包む謎のために、実際には知らないことを知っているという名声を得ることで生きているのだと、あなたは完全に自由に言うことができるでしょう。あなたはそう見えるか、あるいは心からそう信じるようになったのですから。例えば、私にはあなたと同じように、私があなたをどう思うかを伝える権利がありますが、一方であなたは、表向きにはそれを笑うことなく、心の中では悪意（あなたが努力しても、ほとんど助けることができないもの）を抱き、万が一私が間違っていた場合には、単なる否定ではなく、何か重要な証拠によってそれを証明するでしょう。あなたがそのような約束をしない限り、私たちの誰もが論争や文通で時間を費やすことは全く無意味です。それよりも、宇宙を越えてアストラル的に握手をし、あなたが今以上に真実と偽りを見分ける能力を身につけるか、我々が詐欺師（あるいはもっと悪い、嘘つきの化け物）に過ぎないことが示されるか、あるいは最終的に、我々のうちの誰かが、あなたやシネット氏に自分たちの存在を示す立場になるまで待った方がいいでしょう。

２

　時折、私たちが他人の考えを読むことがあるということをあなたに納得してもらうのは非常に絶望的なので、少なくとも、あなたの非常に平易な手紙を完全に誤解しなかっただけの十分な英語の知識が我々にあると信じてくれることを期待しています。そして、その手紙を完全に理解した上で、「親愛なる兄として、あなたは最初から最後までひどく間違っています」と明確にお答えしますので、私を信じてください。あなたの手紙は、誤解に基づいています。「ミッシングリンク」について全くの無知であり、それについて知るだけで全体の状況の真の鍵をあなたが与えられたかもしれません。次のように書いたのはどういう意味ですか？

　「親愛なるマスター

非常に残念なことに、あなた方はファーンを完全に甘やかして台無しにしています。ファーンは根っからの善人で、オカルト知識への強烈な欲求と、強い意志と禁欲的な能力を持っているので、きっとあなた方の目的のために役に立つでしょう。しかし、彼の自惚れは耐えがたく、フィクションの捏造者になりつつあり、これはあなた方のせいです。彼は最初からモリヤを完全に騙しています。そしてその妄想を続けるためにシネットにしつこく嘘をつき続け、モリヤに秘密を託して彼をチェラとして受け入れさせ、今では自分が誰にも負けないと思っています......モリヤはその罠に完全にはまっていると答えています......この詐欺は間違いなくあなた方の利益のために始まったのです......等々」。

３

　前に述べたことをもう一度繰り返す必要はありません。つまり、ファーン氏に関するあなたの最初の手紙を受け取るまで、私は彼のことを一瞬たりとも気にかけたことがなかったのです。では、私たちの中で誰があの若い紳士をダメにしているのでしょうか？

モリヤですか？

さて、あなたはモリヤのことを、モリヤがあなたの心の中にあるものを知っているよりももっと知らないということは、容易に理解できるでしょう。「彼はモリヤを徹底的に痛めつけた」。そうでしょうか？

申し訳ありませんがあなたの西洋の慣習に従えば、むしろ逆に見えることを告白しなければなりません。つまり、ファーン氏を「こき下ろした」のは私の最愛のブラザーだということです。ブラザーの言ったこの耳障りな言葉には別の意味があり、別の名前もあったのですが。もちろん、後者の方がより「嫌悪感」を覚えるかもしれません。というのも、イギリスの社交界で活躍するすべての人の声を代弁しているシネット氏でさえ、それを平均的なイギリス人の感情を徹底的に逆なでするものだと見なしているからです。その別の呼び名は、見習い期間（試験）です。単なる装飾品にとどまりたくないチェラは、多かれ少なかれ長期間にわたって受けることになるもので、このようなものは、間違いなくあなた方西洋人が屈辱や欺瞞のシステムと見なすものに基づいているというまさにその理由から、ヨーロッパの考え方をモリヤよりもよく知っている私は、あなた方2人を受け入れることも、チェラと見なすことも常に拒否してきました。このように、あなたが今、ファーン氏による「悪ふざけ」と勘違いしていることは、私たちの方針を少しでも知っていれば、あなたはM□にもその責任を負わせていたでしょう。しかしM□は実際には、一方では現在行っている多くのことに対して全く責任はなく、他方ではファーン氏に事前に正直に警告したことを実行しているのです。あなたが言うように通信を読んだとすれば、HPBがマドラスからファーンに宛てた手紙から、M□の好意に嫉妬した彼女が、それによってファーンをおどすことを期待してシムラにいる彼に手紙を出したことを知ったはずでした。見習い期間中（試験中）のチェラは、自分の好きなように考え、行動することができます。彼は事前に警告され、伝えられています。あなたは外観に誘惑されたり、騙されたりするでしょう。あなたの前には、あなたが達成しようとしている目標につながる2つの道が開かれています。1つは簡単で、あなたが受けるかもしれない命令を実行するために、より迅速にあなたを導く道で、もう1つはより困難で長い道です。途中で何度もつまずくような石やとげでいっぱいの小道です。そしてその終わりに、おそらく、結局失敗を見つけて、特定の小さな仕事のために与えられた命令を実行することができないかもしれません。けれども後者は、その道で受けた苦労が、長い目で見ればすべて自分の手柄になるのに対し、前者の楽な道は、一瞬の満足感、簡単な仕事の遂行しか得られません。チェラは完全に自由であり、しばしば見かけ上はかなり正当化され、彼のグルが上品な言葉で言うところの「詐欺師」ではないかと疑うことが赦されます。それ以上に、彼の（不義・不正への）義憤が言葉で表現されていようが、心の中で沸き立っていようが、憤りが大きければ大きいほど、誠実であればあるほど、彼はより適合しており、アデプトになるための資格を持っています。炎の試練に勝利し、すべての誘惑を拒絶し、何も、彼が命よりも大切にしているもの、最も貴重な恩恵である将来のアデプトの身分の約束さえも、彼を真実と誠実の道から逸脱させることができず、彼を欺く者にさせることができないことを証明するならば、彼は自由であり、自分のグルの行動や命令に関して最も乱暴な言葉や表現を使っても責任を問われることはありません。親愛なる閣下、私たちは物事に対する考え方や、言葉の価値についてさえ、ほとんど同意に達しないでしょう。あなたはかつて私たちのことをイエズス会士と呼んでいましたが、あなたのように物事を見ていると、おそらく私たちをそう見なすことはある程度正しかったでしょう。しかしそれは外見上のことに過ぎません。前にも言ったように、イエズス会士は自分たちが教えていることが嘘であることを知っており、我々は自分たちが教えていることが真実であり、唯一の真実であり、真実以外の何ものでもないことを知っています。イエズス会士らは自分たちの教団のより大きな力と栄光（！）のために働き、我々は個人、独立したユニット、人類全体の力と最終的な栄光のために働いていますが、我々は教団とその長を完全に日陰に置いておくことに満足しており、いや、そうせざるを得ません。彼らは現世の権力のために働き、苦労し、騙します。私たちは働き、苦労し、仲間が一時的に騙されるのを許しますが、それは彼らが今後決して騙されないようにするためであり、現世だけでなく後世の多くの人生において虚偽と不実の全体的な悪を知るためです。彼らイエズス会士は、人格的なはかない人間の肉体脳を養い、より良く発達させるために、内なる原理、自我の霊的な脳を犠牲にし、人類全体を犠牲にして彼らの団体に生け贄として供えます。飽くなきモンスターは人類の脳と骨髄を食べ、そしてそれが触れる健康な肉体のあらゆるところに不治の癌を発症します。我々、批判され誤解されているブラザーたちは、人類全体の幸福のために、人類がいつかなるであろう統合的な全体の一部となるように、その一部である自分自身の不滅の自我のために、一過性のフラッシュ（閃光）である自分の個性を犠牲にするように人間を導こうとしています。彼らは騙すように訓練され、我々は騙されないように訓練されます。彼らは、彼らの貧弱で誠実な道具を除いて自分自身で廃品回収の仕事をしますが、それは愛に満ちた利己的な目的のためであり、我々は、我々の手下であるドゥグパに任せ、当面は彼らに自由裁量権を与えて、チェラの内側の全性質を引き出すことを唯一の目的とします。チェラが賞を獲得するか失うかは、自分自身だけにかかっているのです。ただ、「動機」や「真実性」、「正直さ」に関する東洋の考え方は、西洋のあなたの考え方とはかなり違うことを覚えておく必要があります。私たちはどちらも、真実を語ることは道徳的であり、嘘をつくことは不道徳であると信じています。しかし、ここではすべての類似性が停止し、私たちの考え方は非常に顕著な程度に分かれています。例えば、文明化した西洋社会、教会と国家、政治と商業が、教育を受けた人、政治家、商人、あるいは世界に住む誰もが、無制限に実践することが全く不可能な美徳を、どのようにして前提とするようになったのか、あなたが私に教えてくれるのは非常に難しいことでしょう。イングランドの騎士道の華、誇り高き貴族、最も優れた平民、最も高潔で真実を語る女性など、上記の階級の誰もが、家庭であれ、社会であれ、公的行事であれ、家族の輪の中であれ、真実を語ることができるでしょうか？

愛想の良い礼儀正しさと言葉遣いの良さで嘘偽りのない紳士や淑女が、あなたに会ったときに、あなたや他の人のことをどう思っているかを率直に、そして唐突に話すとしたら、あなたはどう思うでしょうか。誠実な商人の真珠、神を畏れる愛国者や政治家、あるいはあなたの家を訪れたただの訪問者が、その間ずっと自分の考えを隠し、野蛮人や狂人と見なされるペナルティの下で、あなたに考えを言わざるを得なくなった途端に、わざと大胆な顔で嘘をつくことを、あなたはどこで見つけることができるでしょうか。もしも不思議なことに、その人の本当の気持ちが隠し事を必要としないならば？ 兄弟よ、私たちの周りにも中にも、全てが嘘であり、全てが偽りです。だからこそ、面と向かって率直に真実を話す人を見つけると、あなたはたとえ影響を受けていないとしても、とても驚いているようです。また、ある人があなたに対して悪感情を持っていないかもしれないし、いくつかの点であなたを好きで尊敬しているかもしれないし、それでもあなたに対して正直に心から考えていることを面と向かって話すかもしれないことを、あなたは理解できないようです。あなたは自分の意見が、M□のいくつかの手紙に表現されているのに注目して、（もちろん、すべての言葉がある目的のために彼によって承認されていますが、彼の手書きであるからといって、それが彼によって書かれたものだと完全に確信してはいけません）、M□が「控えめに言っても、自分自身を表現する独特の方法」を持っていると言います。さて、その「方法」とは、M□があなた自身に書くことができる、あるいは面と向かって言うことができる、少しも隠したり変えたりすることのない、ありのままの真実のことです（ただし、上述したような目的のために意図的に表現を誇張させた場合は別です）。そのため、あなたは彼のことを「反対されると非常に怒る横柄な男」と呼んでいますが、あなたは「そのために彼に悪意を抱くことはなく、そのために彼を好きになることもない」と付け加えます。それは違います、私の兄弟、あなたはそれを知っています。しかし、私は限定的な意味でこの定義を認める用意があります。そして、彼（M□）が非常に威圧的なタイプの人間であり、特に自分が正しいと思っていることに反対された場合には、時々怒り出す傾向があることを、あなた（そして私のすぐそばにいる本人）と一緒に認め、繰り返すことができます。もし彼が怒りを隠し、自分自身や外部の人間に嘘をつき、そうすることで彼にはない美徳を信用させていたとしたら、あなたは彼のことをもっと評価するでしょうか？ 怒りの感情を根こそぎ消し去り、私たちが罪深いと考える情熱の発作を少しも感じないようにすることが功徳であるならば、そのように消し去ったと偽ることは、私たちにとってさらに大きな罪です。「不老不死」（Elixir of Life）第2号（4月号、p.169 col.1、paras.2,3,4,5,6）に目を通してください。それなのに西洋の思想では、宗教でさえもすべてが見かけ倒しになっています。聴罪の司祭は懺悔者に怒りを感じたかどうかを問うのではなく、誰かに怒りを示したかどうかを問うのです。「汝、嘘をつき、盗み、殺しなどをするときには、見破られないようにせよ」。これは文明の主神である社会や世論の最大の戒めのようです。それが、それに所属するあなたが、モリヤのような性格を評価することがほとんどできない唯一の理由です。彼は、自分に厳しく、自分の欠点にも厳しく、他人の欠点にも寛容で、言葉ではなく心の奥底の感情で表現する人です。というのも、彼は自分が考えていることを何でも面と向かって話す準備ができている一方で、私よりもあなたにとって堅実な友人であり、厳しい真実を話す中でも、誰かの感情を傷つけることをしばしば躊躇することがあったからです。このように、もしもM□が説明のために降りてきたとしたら、彼はあなたにこう言ったかもしれません。「兄弟よ、私の意見では、あなたは非常に自己中心的で高慢です。あなたの感謝と自画自賛の中で、あなたはたいてい他の人類を見失っており、私はあなたが人間のために創造された宇宙全体と、その人間であるあなた自身を考慮していると確信しています」。自分が正しいとわかっているときに反対されるのが私には耐えられないとすれば、あなたの良心があなたに明らかに間違っていると言っているときでさえ、あなたは矛盾に耐えることはできません。あなたは些細なことを忘れることができません……あなたが許す人であることは認めますが。そして、あなたが私に軽視された（あなたがかつて表現したように、座視された）と心から信じているため、今日に至るまで、想定される違反行為が、私の謙虚な個人に関連するあなたのすべての考えに静かな影響を及ぼしています。あなたの偉大な知性は、怨恨の感情が自己主張してあなたのより良い性質を覆すことを常に防いでいますが、あなたの理性的な能力にも一定の影響を与えないわけではありません。なぜなら、あなたは（自分ではほとんど認めていないでしょうが）、私を罠にかける方法を考案することに喜びを感じているからです。推理してみましょう、兄弟よ。私が入門者（イニシエート）であること、熟練者（アデプト）であることを完全に脇に置いて、あなたの想像力が私のために作り出した立場を推論しましょう、私にはある種の常識があり、あなたの頭の中には同じものが大量にある2人の普通の人間のように。もしあなたが私に少しでも譲歩する覚悟があるのなら、私がこのような貧弱な計画の網にかかったと考えるのは馬鹿げていると、あなたに証明する用意があるのです。あなたは私をテストするために、ファーンが「モリヤがそれ（自分のビジョン）を出版することを望んでいるかどうかを知りたがっており、モリヤは罠にかかってそれを望んでいると答えた」と書いています。さて、最後の主張を信用するのはかなり難しいです。中程度の良識と推理力のある人であれば、あなたの前述の私に対する評価と、私が実際に罠にかかったという信念とを両立させるには、2つの克服できない困難があることを理解する必要があるでしょう。

４

第１に、ビジョンの内容とテキストです。そのビジョンの中には、３人の神秘的な存在がいます。「グル」、「強大な者」、「父」です。さて、私に幻覚を見るような能力があると言われない限り、信じがたいことですが、それまで若い紳士に1マイル以内の距離で近づいたこともなければ、夢の中で彼を訪ねたこともないことをよく知っている私が、描写されたビジョンの現実を信じるはずがないし、少なくとも、このような奇妙な主張によって私の疑念が生じなかったはずがありません。

第2は、私は反対されると非常に怒る「威張った男」であるということと、試用期間中のチェラの不服従や反抗に静かに従うという２重の事実を両立させることの難しさです。チェラは、「モリヤがそれを望んでいたこと、つまり自分のビジョンを出版することを望み、実際にそれを書き直すと約束していたこと」を知ると、その後はその願いに従おうとは考えませんでしたし、哀れで愚かなグルや「父」もそれ以上この問題を考えませんでした。さて、上記の全体像は、平均的な知性の持ち主にさえ、非常にわかりやすいでしょう。逆のことが起こり、間違いなく偉大な知性とさらに大きな推理力を持つ人が、これまで想像された中で最も貧弱な虚偽の蜘蛛の巣に捕らえられたのですから、結論は必須であり、他にはありません。その人は自分でも知らないうちに、自らの論理と良識を犠牲にして、小さな執念深さを満足させることを許しました。もうこの話はやめましょう。その上で、あなたの多くの点での高慢さや身勝手さを率直に嫌う一方で、あなたの他の多くの立派な資質や、自分と直接関係のないことでの輝かしい功績や良識を率直に認め、称賛の意を表します。このような場合、あなたは私と同じように威圧的になりますが、はるかにせっかちになります。そして、私のぶっきらぼうな、あなたの西洋のマナー規範によれば無礼な話し方を許してくれることを心より願っています。同時に、あなたと同じように、私はあなたに悪意を持っていないし、それでもあなたのように、私の言うことは厳格な現実であり、私の純粋な感情の表現であって、偽りの義務感を満たすために書かれた言葉ではないことを言いたいと思います。

５

　そして今、私はモリヤの代弁者となりましたので、私自身のために少しお話させていただくことにしました。私はまず、様々な時に、特にこの2ヶ月間に、あなたが何度も自分をチェラとして申し出たことを思い出します。そして人の最初の義務は、グルの言うことを怒りや悪意なしに聞くことです。もし私たちが、私たちや私たちの方法とは全く異なる態度、つまり２人の社会人の態度を維持しなければならないのであれば、どうやって我々が教え、あなたたちが学ぶことができるでしょうか？ もしあなたが本当にチェラになりたいのなら、つまり私たちの神秘の受け手になりたいのなら、私たちがあなたのやり方に従うのではなく、あなた自身が私たちのやり方に合わせなければなりません。そうしない限り、通常の状況下で私たちが与えられる以上のものを期待するのは無駄なことです。あなたはモリヤに教えたいと思っていましたが、（そして、もし私がM□から自分の道を歩むことを許されたら）、モリヤがあなたに次のことを教えたことがわかるかもしれません。彼が教えてくれたのは、私たちを永遠に友人や兄弟にしてくれるものか、あるいは、もしあなたの中に東洋のチェラや未来のアデプトよりも西洋の紳士が多く含まれているなら、あなたは嫌気がさして私たちと決別し、おそらくそれを世界中に宣言することになるであろうことです。そのために、私たちはすべての準備を整え、いずれにせよ危機を急ごうとしています。11月が間近に迫っており、その時までにすべてを解決しなければなりません。2つ目の質問です。善き兄弟よ、野蛮で威張った男が、正直に、そしてあなた自身のために自分の考えを話し、同時に、目に見えないが慎重に、あなた自身や家族、評判を、すべての起こりうる害から守ってくれるとは思わないのですか？ あなたに復讐しようとしているムスリムの粗野な男、英国の居住者で紳士であなたの評判を陰でズタズタに引き裂いて、あなたに会えば笑顔と心の中であなたと握手をする彼を、何日も何日も監視して、実際に彼の邪悪な計画を破壊することは、あなたの体重の10倍もの金の価値があると思いませんか? 高度な文明を持つワトソン大佐や将軍、特にその夫人が、生まれて初めて家に来た２人の見知らぬ人、オルコットとバローダの裁判官を見たときに、口実をつけて協会をけなしたようなことをするよりも、自分の思っていることを言い、当然ながら不作法と思われるようなことを言ったほうが、はるかに高貴だとは思わないでしょうか。彼らが犯した嘘や、ワトソン夫人があなたに向けた誇張や誹謗中傷、そして彼女の夫である勇敢な軍人が裏付けたことを繰り返すつもりはありませんが、哀れなオルコットは予期せぬ攻撃に打ちのめされ、平然としていたのです。あなたが協会に所属していることをとても誇りに思っているオルコットは、自分の失望をM□に訴えたのです。あなたは、M□があなたの現在の仕事と心境をどれほど評価しているかを聞いていたら、彼が時折無礼な態度をとることを喜んで許容したことでしょう。彼は、HPBに話したこと以上のことを話すことを禁じていました。その時、彼女はあなたに腹を立てていましたが、あなたを侮辱されたことに強い憤りを感じていました。そして、ワトソン夫人が言ったので、あなたが彼らの家で歓待を受けていた頃の過去をわざわざ振り返ったのです。これが、西洋の優れた出自の、真偽が疑わしい善意の人や友人と、東洋の劣った人種の主張する悪意の人との違いです。というのも、M□がやったことは、私たちの規則や方法に厳密に従っているとはいえ、知られれば西洋人の心に深く恨まれるものであり、もし私がそれを止めることができる時期にそれを知っていたならば、間違いなくそれが行われるのを防いだでしょう。ファーン氏が我々を「捕まえる」意図を表明したのは確かに非常に親切です。「もちろん老婆を暴くためではない」です。かわいそうな「老婆」がこの件に何の関係があるというのでしょうか。しかし、彼は私たちを捕まえることも、暴露することも歓迎しています。それは自分とあなたの保護のためだけでなく、全世界の保護のためでもあり、それが彼の失敗を少しでも慰めることができるならば、です。そして、もし彼がそのように裏表のある行動を続けるならば、彼は間違いなく失敗するでしょう。彼を正規のチェラとして受け入れるかどうかの選択肢は、チョーハンの手中にあります。M□はただ、彼の本性を引き出すために、あらゆる手段を使ってテストし、誘惑し、調べなければなりません。これは我々のルールであり、あなた方西洋人の目には不快きわまりないことに映りますが、我々にはどうしようもないことであり、私にはそれを防ぐことはできないのです。試用期間中に、その時の状況下でそのチェラが何ができるか、できないかを徹底的に知るだけでは十分ではないのです。私たちは、そのチェラがさまざまな、そしてあらゆる種類の機会の下で何ができるようになるのかを知らなければなりません。私たちの予防措置は万全です。ウパーシカもHPBもO（オルコット）もダモダールも、私たちのウパーシカもユポサ（yu-posah）も、誰も罪に問われることはありません。彼（チェラ）は、自分が持っているすべての手紙を見せ、自分にするように提案されたこと（２つの道のどちらを選ぶかは彼の選択に委ねられています）と、実際にしたこと、あるいはむしろしなかったことを明らかにすることができます。時が来れば、もし彼に不幸が訪れたとしても、どれだけのことが真実で、どれだけのことが間違っていて、彼によって作り出されたものであるかを明らかにする手段があるのです。それまでの間、私はアドバイスをしたいと思います。何も言わずに見守っていてください。彼は昔も今も、そしてこれからも、あらゆる種類の間違ったことをするよう誘惑されるでしょう。言っておきますが、私は先日まで何が起こっているかを全く知りませんでした。自分の名前さえも間接的に確率に混じっていることを知り、私は警告すべき人には警告し、自分の分野がそれに混じることを厳しく禁じました。しかし、彼は透視の対象として高尚であり、あなたが思っているほど悪い人ではありません。うぬぼれ屋ですが、うぬぼれ屋でない人なんていますか？ 私たちの中で、この欠点が全くない人はいないでしょう。彼が何を想像しようと、何を言おうと、それは勝手ですが、あなたが自分にあるとはを認めようともしない偏見に流されるのは、この上なく奇妙なことです。M□がファーン氏に騙されて罠にかかったという話を心から信用するのは、あまりにもおかしな話です。「老婆」に限らず、Oさんでさえも、彼が見習い期間中であることは知っていたし、その意味も知っていたので、決して信じなかったのです。M□は数日前に苦心して、あなたが期待していたようには決して騙されなかったこと、そしてその考えを笑っていたことをあなたに証明しました。また、オルコットは現在セイロンの奥地にいて、手紙はもちろん電報も届かない場所にいるにもかかわらず、確実にあなたにその証拠を示すでしょう。また、この「詐欺」と呼ばれるものは、私たちの利益のために始められたものではありません。というのも、私たちは何の興味もないからです。ファーン氏と協会の利益のためにHPBの考えのために始まったのです。しかし、なぜそれを詐欺と呼ぶのでしょうか。ファーン氏は心配し、泣きついて、彼女に助言を求め、彼女は彼にこう言いました。「大義のために働き、兄弟の存在を示すあらゆる証拠を手に入れるために、尋ね、問い合わせてみてください。今年は来ませんが、シムラやその周辺には毎年たくさんのラマ僧が降りてくるから、自分やヒューム氏のためにできるだけの証拠を集めておくのです」等。これに何か問題があるのですか。彼女は、M□のビジョンが書かれたマニュスクリプトを受け取ったとき、M□に尋ねました。そして、その中で「力ある者」「父」などと呼ばれている方は、彼女に真実を告げ、ファーン氏にそれを出版するかどうか尋ねるよう彼女に命じましたが、事前に彼女とOには出版しないと告げました。モリヤがこのことや他のビジョンについて何を知っているかは、彼だけが知っていることであり、私個人にとってどんなに嫌なものであっても、私が彼のトレーニング方法に干渉することはありません。あなたが私に尋ねた「老婆」は、もちろん何も知りません。しかし、彼女がバローダに行ってから、あなたよりもファーンのことを悪く評価していることを知っておく必要があります。彼女はそこで彼とブルックスについてあることを学び、ブルックスからは他のことを聞きました。彼女はウパーシカ（女弟子）とはいえ女性であり、オカルト的なこと以外はほとんど黙っていることができません。この話はもう十分でしょう。今までも、そしてこれからも、ファーン以外の人には誰にも、このことが影響することはありません。

６

壮大な神智学的座談会が計画されていると聞きましたが、もしその時にあなた方がまだ神智学徒であれば、もちろんあなた方の家で行われるのが良いでしょう。そして今、私はあなたにいくつかの別れの言葉を述べたいと思います。あなたが私への手紙の中で自ら告白したような、あなたの主な、そしてほとんど唯一の欠点を私が痛切に知っているにもかかわらず、私の親愛なる兄弟よ、他のすべてのことにおいてあなたへの私の尊敬と敬意は偉大であり、非常に誠実なものであると言うとき、私を信じていただきたいと思います。また、何が起ころうとも、過去何ヶ月もの間、自分への報酬や利益を期待したり求めたりすることなく、協会や人類全体の利益のために、唯一の希望である善行のために、毎日毎日働いて苦労してきたことを忘れるつもりはありません。そして、善き兄弟よ、私のどんな単純な発言も「非難」と見なさないようにお願いします。もし私があなたに反論したとしたら、それは私がそうせざるを得なかったからです。なぜならば、チョーハンはそれら（あなたの提案）を前例のないものとみなし、彼の立場では一瞬たりとも耳を貸すべきではないと主張したからです。あなたは今、自分に向けられた議論を「不当な非難」と考えているかもしれませんが、いつの日か、自分が本当は「理不尽な譲歩を求めていた」ことに気づくかもしれません。他の誰でもない自分に、できれば人を説得するのに使えるような驚異的な能力を身につけさせるべきだという、あなたの差し迫った提案は、単に「（私の）検討のための提案」という死語的な意味で、「主張を構成するものではない」と、とらえられているかもしれませんが、行の表面下を読むことができる人にとっては確かに明確な主張に見えます。私はあなたのすべての手紙を持っていますが、断固とした主張、当然の要求、つまり、当然のことを要求し、それが拒否されるとあなたは自分が不当に扱われたと感じる権利がある、という精神を感じさせない手紙はほとんどありません。そのような意図で書いたのではないと思います。しかし、そのようなことはあなたの密かな思いであり、その心の奥底にある感情は、あなたが何度もその名を口にしたチョーハンが常に見抜き、気付いていたのです。一貫性のなさや不完全さを理由に、これまでに得たものを過小評価するのですか？ 私はあなたに次のことを尋ねました。前者（一貫性のなさ）に気付き、神の存在を肯定する最初の議論と否定する最初の議論の不整合（あなたがそう考えているもの）から始まり、「事故」と「自殺」についての想定される矛盾までについてを、です。それを私に送ってくれれば、教義全体をよく知っている人が１人もいないことを証明してみせます。水曜日にあることを書いて、土曜日か日曜日にはそのことをすっかり忘れてしまっていて、自分の考えを真っ向から否定しているという、頭脳をフルに活用している人を非難するのは奇妙なことです。記憶力が著しく低下している我らがHPBでさえ、このような完全な忘却の罪を犯すことはできないと思います。あなたの意見では、「二流の頭脳のためだけに働くのは価値がない」とのことですが、あなたはそのような議論の流れに沿って、「ハーバート・スペンサーのような人間の精査と批判に耐えられる哲学のスキーム」をすぐに取り出せないなら、すべてを手に入れるかまたは仕事を完全に放棄することを提案しています。これに対して私は、「あなたは大勢の人々に対して罪を犯している」と答えます。現在、知的に破綻している何百万人ものスピリチュアリストがいるのは、ハーバート・スペンサーやダーウィン、ジョン・スチュアート・ミルズの中ではなく、「二流の知性」の大部分を形成しているのは彼らのほうなのです。もしあなたに忍耐力があれば、私たちの思弁的な哲学から得たいと思うものをすべて手に入れることができたでしょう。「思弁的」というのは、もちろんアデプト以外はそのようなものにとどまっているに違いないという意味です。しかし、本当に、親愛なる兄弟よ、あなたはその美徳に過不足はありません。ですが私には、なぜあなたがこの状況に落胆しなければならないのかがわかりません。

７

どのような状況になっても、私たちから聞いた友情ある真実を恨まないでいただきたいと思います。なぜあなたがそうすべきか？ 良心の声が、あなたは時に理不尽なほどせっかちで、あなた自身が望むほど寛容ではないと囁いていることに腹を立てるでしょうか？

確かに、あなたは何ヶ月もの間、様々な方向に向かって休むことなく大義のために努力してきました。しかし、あなたが行っていることに我々が一度も理解を示さなかったからいって、また、我々が手紙の中であなたのことを認めたり感謝したりしなかったからといって、あなたの行ったことに感謝していないか、あるいは意図的に、あるいは別の方法で無視していると考えてはいけません。人道と真理の大義のために自分の義務を果たしたからといって、誰も感謝を期待するべきではありませんが、結局のところ、他人のために働く者は、自分のためにしか働かないのですから、それにもかかわらず、わが兄弟よ、私はあなたのしてくれたことに深く感謝しています。私は元来、あまり実証的ではありませんが、いつかあなたが思っているような恩知らずではないということを証明したいと思っています。そしてあなた自身も、私への手紙の中で、あなたが言うところの欠陥や矛盾に文句を言わずに我慢してきましたが、その我慢も、そのような欠陥が本当なのか、それとも表面上そう見えるだけなのかを判断する作業を、時間とさらなる説明に委ねるまでには至っていないのです。あなたはいつもシネットや、最初の頃はファーンにも文句を言っていました。もしあなたが5分ほどでも先住民のグルとヨーロッパ人のチェラの立場になって考えてみれば、先住民の心には私たちのような関係がいかに化け物じみているかがすぐにわかるでしょうし、無礼なことをしても誰も責めないでしょう。しかし、あなたが手紙の中で私を「マスター」と呼んでいるという事実だけで、私たちの関係を知っているすべての“Tchutuktus“の笑いものになってしまいます。私はこの事実を決して口にしなかったでしょうが、ここにスバ・ラウから私への言い訳だらけの手紙と、HPBへの偽りなき真実に満ちた手紙を同封することで、あなたに示すことができる立場にあります……２人ともチェラ（弟子）ですから。西洋的な意味で私が無分別な行為をしているのではないことを願っています。あなたはそれらを読んで、その内容を記した後、両方とも私に返してください。これは、あなたの個人的な指示のためだけに、極秘に送られてきたものです。あなたがインドで何か良いことをしようと思う前に、英国がどれほど多くのことを元に戻さなければならないか、そこからお分かりになるでしょう。最後になりましたが、私の心からの敬意を今一度お伝えして終わります。

敬具

KH

あなたはファーンに厳しすぎるし、不公平だと思いますよ。